

# 大阪湾漁場環境速報

時化のため、一部の調査点を欠測しました。

平成19年6月11日発行  
兵庫のり研究所

(水温) 表層は湾内18~21 台で、平均19.2。 平年(19.5)比0.3、 昨年(20.2)比1.0 それぞれ低い。 -10m層は平均18.4で、 ほぼ平年(18.2)並。 先月同様、 湾奥部で強い成層が観測された。

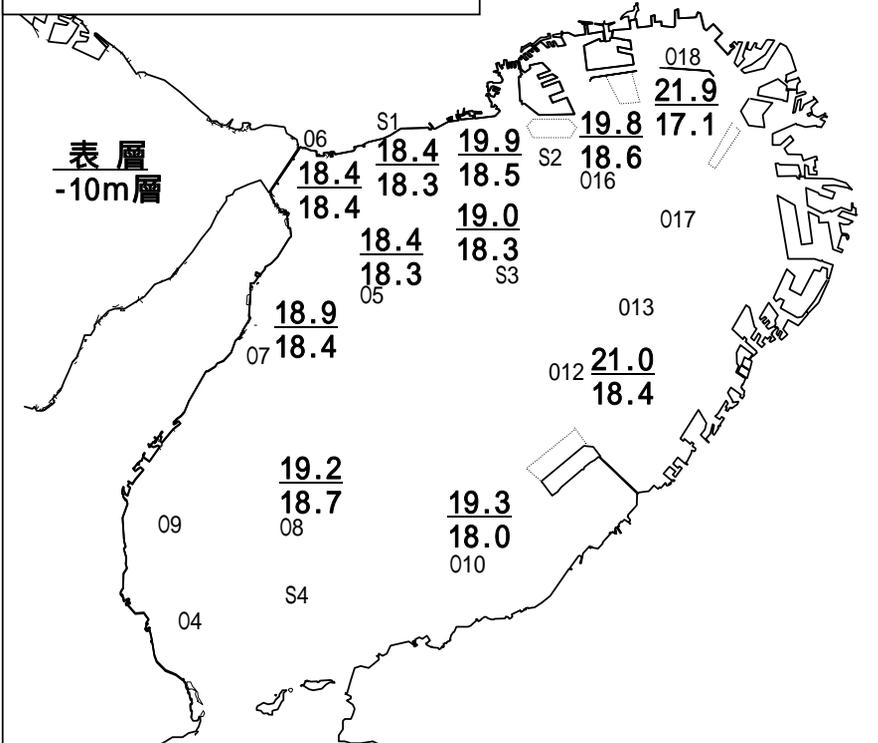
(塩分) 表層平均32.23psu(平年 30.79)。 -10m層平均32.52psu(平年 32.23)。

(栄養塩、他) 表層の窒素濃度は平均1.5 µg-at/L、リン濃度は平均0.26 µg-at/L。 窒素は平年(7.9)よりかなり低く、リンはほぼ平年(0.23)並の値を示している。 -10m層(平均)は、窒素2.4 µg-at/L、リン0.32 µg-at/L。 湾奥部(018)で、ヘテロシグマ(ラフィド藻)による赤潮が観測された。 また、夜光虫(ノクチルカ)は、神戸市沖の一部と湾奥部で赤潮が認められたが、先月に比べると、全般に減少していた。 明石海峡付近(表層水温18 台)を除いた海域では、シュードニッチアなどの小型珪藻がやや多く認められた。 透明度は平均4.2m。 pHは表層平均8.33で、湾奥部の赤潮域では8.7以上の高い値を示した。

上段(今回値)	平成19年6月8日調査
中段(昨年値)	平成18年6月5日調査
下段(平年値)	

調査地点	水温( )	塩分(psu)	三態窒素(µg-at/L)	リン酸(µg-at/L)
04	19.5	31.99	3.9	0.17
	19.4	32.19	9.6	0.41
05	18.4	32.55	2.7	0.37
	19.9	31.54	8.6	0.63
06	18.6	32.12	5.4	0.27
	18.4	32.57	2.7	0.35
07	18.0	31.99	5.3	0.21
	18.3	32.00	7.4	0.29
08	18.9	32.57	1.8	0.32
	20.3	31.76	4.1	0.21
09	19.4	31.96	4.5	0.19
	19.2	32.45	0.9	0.22
10	21.0	31.32	3.9	0.20
	20.1	31.74	4.5	0.25
11	21.1	31.22	4.0	0.23
	19.8	31.98	3.4	0.15
12	19.3	32.25	0.8	0.19
	20.4	31.13	2.0	0.06
13	20.1	31.03	4.4	0.11
	21.0	31.13	0.4	0.09
14	20.5	29.72	3.9	0.08
	20.3	29.75	10.5	0.16
15	20.4	29.55	10.7	0.16
	20.4	29.63	14.8	0.47
16	19.8	31.41	0.4	0.14
	20.3	28.39	2.0	0.10
17	19.7	28.21	15.8	0.32
	20.0	27.40	29.4	0.62
18	19.9	28.33	46.3	0.87
	21.9	26.73	3.9	0.34
S1	21.0	24.24	58.8	1.14
	20.4	21.94	53.6	1.43
S2	18.4	32.58	2.9	0.43
	20.2	29.50	2.0	0.09
S3	19.1	30.69	8.9	0.26
	19.9	32.19	0.8	0.18
S4	20.0	29.28	3.2	0.07
	19.5	29.47	11.5	0.24
016	19.0	32.55	1.5	0.29
	21.8	30.83	2.1	0.10
017	20.0	30.91	6.1	0.20
	19.9	32.09	1.9	0.09
018	19.3	32.82	3.9	0.21

水温(表層、-10m層)



窒素濃度(表層、-10m層)

